第九たいむず

No.31　2012.12.6　通刊 1024 号　担当 M

ホームページ：www.takasaki9.com　メールアドレス：takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483TEL/FAX：027-323-0233（団長渡辺） 携帯電話：080-5474-2673（事務局長中村）

みなさん、こんばんは。演奏会まで今日を含めてあと2回となりました。衣装の準備はできていますか？暗譜は大丈夫ですか？チケットも売り忘れはありませんか？何より、あと10日、万全の体調で本番に臨みましょう♪♪

◆ 12月1日の広報高崎に渡辺団長が載っています

12月1日広報高崎のP23からっ風トークに**渡辺団長の記事「合唱と共に突き進む人生」**が大きく載っています！高崎市以外の方はコピーを置いておきますのでご覧下さい。

◆ 12月15日演奏会次第＆お願い事項（別刷り）を読んでください

演奏会当日の集合時間、駐車場などいろいろが詳しく書かれています！全員の方がお取りいただき、よーく読んでください。読んでわからないことがありましたら、役員にお尋ねください。

◆ 指揮者レッスン指摘事項（受付にあります）

先生方がまとめてくださった「円光寺先生指揮者レッスンの指摘事項」が別刷りされていますので、詳細をご覧下さい。

◆ 第39回演奏会各種申し込み

CD・DVD・ステージ写真の注文受付をしています。まだの方はお急ぎください。

＊過去の演奏会のステージ写真を受付においておきますので、ご覧下さい。演奏会までに注文された方は1ヶ月以内にはお手元に届きます。

◆ チケットについて

演奏会も近づき、チケットの売れ行き状況を把握したいため、チケット精算を早めにお願いします。その際は必ずチケット封筒をお持ちください。尚、チケット精算後は返金できません。

＊演奏会当日に、表の受付にチケットを預けたい方は　**封筒にチケットをいれて「お客様のフルネーム、ご自分のフルネーム、代済　もしくは　未代」**かを記入して当日お持ち下さい。未代の場合は、お客様に**おつりの無いように**お願いをしてください。

♪チケットは売れていますか？声をかけ漏れているお友達はいませんか？常にチケットを携帯し、1人でも多くの方にお声かけして演奏会に足を運んでいただけるようにしましょう。全員で楽しんで頑張りましょう。

◆ 第39回演奏会のポスター・チラシがJR東日本の駅を飾っています！

12月15日まで伊勢崎、深谷、本庄、高崎、新前橋、渋川、沼田、前橋の各駅に高崎第九のポスターが掲示されています。JR高崎駅は、駅のインフォメーションセンターにチラシも置かれます。

◆ 足利の第九応援参加者募集　12月23日（日）

先方より、Ten10名、Bas5名の要請がありました。出演希望の方は受付で申し込んでください。多い場合は調整させて戴きます。併せて、恒例の「古印最中」をご希望の方は注文の数量も書いてください。

◆ すみだ5000人の第九　参加者募集　2013年2月24日（日）　本日締切

申し込用紙にて受付しています。参加費 6,500 円を添えてお申し込みください。（電車代は別）
終了後、ちゃんこ鍋をいつもどおりに楽しみます。（費用別途支払）　　担当：バス　深町さん

◆ 2013年第40回記念演奏会は11月21日(木)

指揮:現田茂夫　ソプラノ:佐藤しのぶ(お二人はご夫婦です)、テノール:錦織健に決定しました。

◆ 今後の予定

１２月１５日(土)　第39回演奏会群馬音楽センター
１２月２３日(日)　足利第九演奏会
１２月２０日(木)・２７日(木)・１月３日(木)は練習がありません。
１月１０日(木)　歌い初め・新年会 ミニコンサート付き
　食べて飲んで歌って楽しく過ごしましょう。
　みんなで持ち込みの新年会です。練習はありません。
１月１７日(木)　通常練習開始
２月１６日(土)　海外公演記念誌出版記念パーティー
２月２４日(日)　すみだ5000人の第九
５月１９日(日)　メイコンサート

市役所・アートマルシェ
16:00～18:00

♪イベント情報♪

☆エウテルペ楽奏団第 21 回定期演奏会　～ソプラノ 小林薫子さんが合唱で出演～

来年1月27日(日) 開場:13時20分　開演:14時00分

会場:第一生命ホール(晴海トリトンスクエア内) 入場料:2,000 円(全席自由)
F.メンデルスゾーン:交響曲第 2 番 変ロ長調「讃歌」 作品 52 他
指揮:高橋隆元　ソプラノ:外山愛・安田祥子、テノール:土崎譲、合唱:Coro Euterpe
エウテルペ楽奏団公式ホームページ: http://at.sakura.ne.jp/~euterpe/

☆今年2月に行われた国際文化交流協会「多文化スピーチ」でのユリヤ先生のスピーチです♪

「ふしぎな合唱団」ユリヤ・レヴ　　(国際文化交流協会の会報より)

私はロシアのサンクトペテルブルクで生まれました。2001年から日本に住んでいます。主人が群馬交響楽団で働くことになり、一緒に来日しました。今はコンサートや、合唱団のピアノ伴奏をしています。

日本人は音楽がとても好きなようですね？！聴くのも演奏も好きだと思いますが一番好きなのは、歌うことのようです。というのも日本にはカラオケ店がいっぱいあります。でもカラオケより、伴奏に合わせてステージで歌うほうがもっと楽しいと思います。子供の時、特別に音楽の勉強をしなかった人、楽譜は読めないけれど歌う事が好きな人は、合唱団のメンバーになればこのチャンスが得られます。分からないことがあれば、サポートもしてくれます。そして、だんだんと自信がつき、楽しくなり、次から次へと興味がわき、いつの間にか皆仲良しになり大きな家族のようになれます。

全国の合唱団が、いろいろな曲をいろいろなスタイルで歌う中、ふしぎな合唱団があります。それは第九合唱団です。曲の名前が合唱団の名前になっていて、外国人から見たら、とても珍しいです！ベートーヴェン作曲の第九交響曲の、オーケストラ演奏が1時間位続いた後、最後の15分の4楽章だけ合唱が取り入れられているのです。第九合唱団は日本全国にあって何十年も続いていて、毎年12月に発表会をします。毎年第九を歌い伝統を守る、そのおかげで、私達はステキな曲を聴くことが出来てとても素晴らしいと思います！県内にも五つあります。アマチュアだから職業や年齢もさまざまなこの大きなグループは、市の小さなモデルにみえる、と思います。

第九の練習のために、当たり前ですが、指揮者やボイストレーナー、ピアニストなどプロのサポートが必要です。私はこのピアニストの仕事を高崎第九合唱団でしています。第九は偉大で、とても複雑な曲。力強く、美しい音楽です。この曲の生の演奏を聴くと、心に意気込みを感じます。発表は12月ですが、練習は6月から始まります。6年間練習に参加していますが毎回弾くと、いろいろな場面でこうふんします。もし皆さんがいま第九を聴いていなかったら、是非12月の生の演奏や歌声を聴いてください！高崎第九合唱団は、毎年ゼロから細かく勉強をします。アマチュアの人達が難しい音楽に興味があるのを、本当に尊敬します。発表会は、見事な行事です！私は合唱団の発表に向けてのプロセスと雰囲気が大好きです。また私の伴奏が、みんなに必要とされていてとても嬉しいです。私はこの人達と一緒の町に住み、生活していることを、ほこりに思っています。